

福井大学国際センターネットワーク誌
Spring 2022 vol.22

こころねっと



学生交流センターの始まり



MALCOLM Eiko (マルコム 英子)
国際課職員

卒業留学生のみなさんにとって、福井大学での思い出の場所はどこですか。毎週の授業で使った講義室、夜中まで仲間と語り合った研究室、昼休みには長蛇の列ができる食堂、心落ち着く図書館などでしょうか。文京キャンパスで学んでい

たみなさんの中には、日本語の授業でほぼ毎日通った R111 という教室を思い出す方もいるかもしれませんね。

その教室があった留学生センター（2013 年以降は国際交流センター）の建物、そして中島先生・虎尾先生の教員室と留学生ラウンジがあったセンター分室の建物は、老朽化のため 2021 年に取り壊されました。でもご心配なく。現在留学生向けの日本語教育を行う語学センターと国際センターは、2021 年 9 月に竣工した「学生交流センター（英語名称：UF Student Central）」に移転しました。



1 階部分の全面窓ガラスと正面のルーバーが目を引く 3 階建ての学生交流センターは、国際課が入っていた「大学会館」の跡地に建設されました。3 階には入試課・アドミッションセンターのオフィスと、語学センターと国際センターの教員室があります。これまでキャンパスに点在していた日本語と英語の教員室が同じフロアに集合したので、留学生の



みなさんにとって大変便利になりました。2 階にはキャリア支援課と就職情報コーナー、日本語の授業を行う教室と、留学生のための多目的室があります。この多目的室にはムスリムの学生がお祈りするための設備も付いています。R111 に代わる新しい教室には、電子黒板や、ハイフレックス授業ができる機材が備わっていて、留学生の学習環境は大きく改善されました。そして 1 階には新しい国際課のオフィス、開放感

The Beginning of UF Student Central



MALCOLM Eiko

Staff of the International Affairs Division

For the former international students, where is your memorable place at the University of Fukui? Is it a lecture room for your favorite class, your lab, the cafeteria, or the university library? Some of you who studied at the Bunkyo Campus may remember R111, the classroom where you attended Japanese language classes almost every day.

The International Center building that housed R111 as well as the building that housed Professor Nakajima then Professor Torao's office and the Overseas Student Lounge were demolished in 2021 due to aging. But don't worry. The Language Center and the International Center, which currently provide Japanese language education for international students, have been relocated to the UF Student Central, which was completed in September 2021.

This three-story building with full-length windows on the first floor and eye-catching louvers in front was built on the site of the former Student Commons which housed the previous office for the International Affairs Division. The third floor houses the offices of the Admissions Division and the Admissions Center, as well as the offices of the Language Center and the International Center professors. On the second floor, there is an office for Career Support Division, the Job Information Corner, classrooms for Japanese language classes, and multipurpose room for international students. This multi-purpose room also has facilities for Muslim students to pray. The classrooms that replaced R111 are equipped with an electronic blackboard and equipment for high-flex classes, greatly improving the learning environment for international students. On the first floor, there is a new office for the International Affairs Division, an open lounge and Ryugaku (study abroad) OASIS, Project Learning Space for active learning, and Global Hub in the center of the floor. This Global Hub was reborn as the "Seiren Global Hub" in December 2021, thanks to the support of Seiren Co., Ltd. This free space led by Student Coordinators (SC) is not actively used as it used to be due to the prolonged effects of COVID-19, but it is expected to grow further as a hub for student exchange, where Japanese and international students gather.

We are sure that the UF Student Central, which provides seamless support for students from enrollment to study abroad to employment, will be one of the most

あふれるラウンジと留学 OASIS、アクティブラーニングなどに使えるプロジェクトラーニングスペースの他、フロア中央にはグローバルハブがあります。このグローバルハブは、セーレン株式会社様に本学のネーミングライツ事業にご賛同いただき、2021年12月に「セーレン グローバルハブ」として生まれ変わりました。長引く新型コロナウイルスの影響で以前ほどの活動はまだできていませんが、語学センターのチューデント・コーディネーター（SC）を中心に、日本人学生と留学生が集う、まさに学生交流の拠点としてますます発展することが期待されています。



このように、入学から留学、就職までのシームレスな学生支援を実現する学生交流センターは、今いる、そしてこれから来る留学生にとっての思い出の場所の一つになることと思います。しかし、新しく、高性能な設備があっても、本当の意味でよい思い出を作るの

は、やっぱり人です。中でも、苦楽を共有し一緒に成長する学友の存在が大きいのではないのでしょうか。

現在福井大学には140名の留学生が在籍しています。このうち約20名が依然日本に入国できず、母国から遠隔授業に参加したり、オンラインで指導を受けたり、またはやむを得ず休学しているという状況です。交換留学生の受入れも、2020年度から中止しています。2022年春から受入れを再開する予定ですが、日本国政府の水際対策のため、渡日の目途はたっていません。福井にいる留学生も、遠隔授業が多く、感染症予防の観点から登学の自粛が求められることも多々あります。国際センターで例年実施しているサマーキャンプ、京都日帰り旅行、スキー体験、留学生との交歓会も、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止を余儀なくされました。そのような中での留学生生活は、悩みを打ち明けるクラスメイトがすぐ隣にいても、閑散としたキャンパスでは友だちとワイワイ盛り上がることもなく、本当に大変なものと思います。



memorable places for current and future international students. However, even with new and advanced facilities, it is the people who make the best memories. In particular, I believe that it is the presence of friends who share the same happiness and hardships and grow together that makes the difference.

COVID-19 changed the life of international students so much. Currently, there are only 140 international students enrolled at the University of Fukui. About 20 of them are still unable to enter Japan and are participating in remote classes from their home countries, receiving online instructions, or taking unavoidable leaves of absence. The acceptance of exchange students has also been suspended since 2020, and is scheduled to resume in the spring of 2022, but due to the Japanese government's border protection, there is no timetable for their arrival in Japan. The international students who are physically in Fukui also have faced difficulties in everyday life. They are often required to attend remote classes from their home, refrain from actually coming to campus for periods of time. All the events that International Center arranges in usual times, such as the summer camp, one-day trip to Kyoto, skiing experience, and get-together party for international students, have had to be cancelled. I think it is really difficult to study abroad in such a situation, as there are no classmates next to whom students can confide their problems, and no friends to have fun with on a deserted campus.

The entire faculty and staff have been working together and trying to make their life a little brighter and not make them feel isolated. Through classes and extracurricular activities, we hope that international students will make friends from various countries and expand their horizons as much or even more than they have in the past, and that they will be able to use their memories of their schoolmates as a springboard into society. I'm sure all of you feel the same way from your own experience. Nowadays, online meeting systems make it easy to connect with people regardless of where you are. We hope that you will support us as a senior international student, a mentor, and a friend from your hometown. We believe that it is the role of the university to provide such a "place" where current and

孤立しがちなコロナ時代の留学生生活を少しでも明るくしようと、教職員一丸となってささやかながら活動を続けています。授業や課外活動をとおして、留学生のみなさんが今までと同じように、もしくはそれ以上に、様々な国からの友だちをつくり世界を広げ、学友たちとの思い出を糧に社会に羽ばたいてほしい。その思いは、まさにそうした経験をしてきた卒業留学生のみなさんもきっと同じことでしょう。今はオンラインミーティングシステムで、世界中で活躍するみなさんと簡単につながることができます。福井大学留学生の先輩として、メンターとして、そして同郷の友人として、今福井にいる留学生たちをサポートしていただけるとありがたいです。現役留学生と卒業留学生のみなさんが出会い、交流できる「場」を提供し、つながりを広げていくことも、私たち大学の役目だと考えています。『こころねっと』の発行もその一つですね。また、福井大学のウェブサイトにも、留学生同窓会のみなさんからのメッセージを掲載するページも追加しました（以下のリンク先を参照ください）。より多くのみなさんにご協力いただけると嬉しいです。そして、みなさんから提案があれば、お知らせください。そして、次に福井に来ることがあれば、是非学生交流センターにも足を運んでみてくださいね。またお会いしましょう！

福井大学＞国際交流・留学＞留学生同窓会

「世界で活躍する先輩から、キミへのメッセージ」

<https://www.u-fukui.ac.jp/international/network/alumni/>





former international students can meet and interact with each other to expand their connections, including publishing "Kokoronet." We also added a new page on the university website, with a world map full of heartwarming messages from our alumni. If you are interested, please find the page below and give us your message to current and prospective students. Also, if you have any other suggestions for such places, please let us know. And please visit the UF Student Central when you come to Fukui next time. See you then!

University of Fukui > International Alumni

"Messages from UF alumni living all over the world"

<https://www.u-fukui.ac.jp/eng/global-network/international-alumni/>



留学生会長から一言



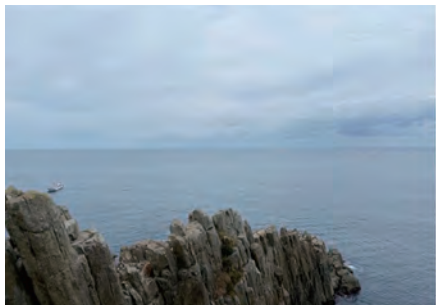
Wei He (魏赫 China)

工学研究科 知識社会基礎工学専攻

皆さん、こんにちは、WEI HE と申します。私は 2022 年 2 月に正式に留学生会の会長の仕事を引き継ぐことになりました。よろしくお願いします。

2019 年 10 月に福井大学に留学しましたが、当時は研究生でした。研究室の日本人の友人や先生方はとても親切で、新しい環境に早く慣れることができたので、本当に感謝しています。

現在、コロナ禍により、日本は一時的に新規外国人が入国できない状態にあり、福井大学の留学生数は現在 140 人しか維持されていないのが残念です。日本に新規外国人の入国が早く開放され、文化交流の魅力が楽しめることを願っています。来日当初は、恐竜博物館や東尋坊の見学、クリスマスパーティーなど、留学生会のさまざまな活動に参加しました。みんなが一緒にいてとても楽しかったので、そんな日々が懐かしいです。現在、コロナ禍のためにすべてのグループ活動が一時的に停止しており、会長として大変申し訳なく思っています。



東尋坊の風景



恐竜博物館の見学

今、日本の就職活動に参加しています。コロナによる不幸中の幸いで、東京や大阪に行かなくてもオンラインで就活イベントに参加できるようになったり、企業説明会や面接をオンラインで直接受けることができるようになったりして、時間とお金のコストを大幅に削減できるようになりました。ですから、私の任期中に、国際課とともに、留学生にキャリアに関するヘルプや情報を提供することができればと思っています。

コロナ禍が終わったら、皆さんと一緒に福井の美しい風物を体験したいと思っています。それを楽しみにしながら、頑張りましょう！

「知足常楽」



Wang Yu (王侯 China)

工学研究科 産業創成工学専攻

私は2019年に中国の南昌航空大学から交換留学生として福井大学に来ました。この間、学習と生活がとても楽しかったから、大学院は福井大学へ進学することを決めて2021年に入学しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で、私は他の中国の友達と同じく、日本に入国することができませんでした。交換生の時の福井生活が本当に懐かしいです。今は家で遠隔授業を受けるしかありません。インターネットの授業しかできないので、先生方とメールで交流した後、興味のある授業でも放棄せざるを得ません。しかし、多くの先生が助けてくださったおかげで、私は異なる形式で受講することができています。ほとんどの授業は録画動画を見たり、ZOOMやグーグル教室でオンライン授業を受けたりしています。先生もできるだけ対面授業と同じように、私たちに質問する機会を提供してくれます。オンライン授業なので、宿題量は以前よりずっと多いです。知識が十分に分かれれば、全部完成することもできます。一部の先生は私が対面で受講できないと聞いた後に、私に教科書を送って、私に勉強した後に宿題の内容を完成させて、しかも熱心に問題を解説してくれます。他の学生と一緒に対面授業を受けることができませんが、正常に関連する知識を勉強できています。ここで、先生方にお礼を言いたいと思います。

遠隔授業の中で、やはり当初は対面授業の日々が懐かしかったです。日本語の問題があれば、研究室の日本の友達は私にまじめに解答してくれました。週末は友達と福井の景色を楽しむことができました。桜が咲く季節、足羽神社の桜は千年の歴史があると聞いて、友達と山に登



1：足羽神社の桜



って桜を見に行きました。本当にすばらしい思い出ですね。

最近また新しい変異株オミクロンのニュースを見ました。人類とコロナの戦いは長い過程だと思います。ワクチンの開発が加速しても、人間の心の傷は治りにくいです。だから、角度を変えて生活を見て、自分の周囲に持っているものを大切にしたいほうがいいです。中国の1つの古言に「知足常楽」というのがあって、その意味は、人が今持っているものに満足すれば、ずっと楽しくなることができる、というものです。例えば、今は海外からでも友達とLINEやWeChatで交流できます。顔は見えませんが、文字の中で相手の気持ちを知ることができます。先生方とメールで交流中、熱心に質問に答えてくれます。同時に自分の日本語を書く能力もだんだん高まってきました。福井大学が組織した交流活動に参加できませんでしたが、交換生の間に福井で越前和紙、越前漆器など様々な伝統文化を体験しました。中日友好春節パーティーにも参加し、多くの福井のお年寄りと一緒に歌ったり踊ったりしました。別の角度から言えば、私は幸運にもコロナの前に福井文化を体験済みなのです。



2 : 越前和紙



3 : 越前漆器

最後に、人類が一日も早くコロナに打ち勝って、一人一人がマスクを外した後の笑顔を見ることができることを望んでいます。

私の一日



Wang Ying (王瑩 China)

工学研究科 知識社会基礎工学専攻

工学研究科の留学生オウインと申します。私が日本に来たのは2015年です。その時、夫は福井大学の留学生でした。私は日本に来てから二人の娘を産みました。夫が就職した後に、私はもっと勉強したくて2021年4月に福井大学大学院に入学しました。今年、娘は6歳と4歳になりました。今回は私の一日の生活を紹介します。

私の一日の初めはキッチンからです。朝6時に起きて、家族の朝食と自分が大学で食べるお昼のお弁当を作ります。7時ごろに子供たちを起こします。子供が起きたら（7時30分に起きるまで子供たちが十分な睡眠をとらないことがあります。）着替え、歯磨きなど色々してから朝食を食べます。子供の朝食中に私は幼稚園に持って行くものを準備します。時々朝子供が7時に起きられない場合もあります。その時は何でも早くしなければなりません。そんな朝はまるで戦争のようです。8:00に子供たちを幼稚園に送ります。終わったら私は大学に行きます。



私が大学に到着するのは大体8:30ぐらいです。8:45から第一限目の授業があります。私は軽く準備した後にちょうど間に合います。日本語が弱いために専門の授業以外に留学生向けの日本語の授業にも参加します。それで毎週の授業が多いです。大学院生のための研究もしなければなりません。研究分野は以前勉強したことがないから、光計測、プログラミング、画像計測、電子回路などの勉強も当然しなければなりません。そのために研究室にいる間は一生懸命頑張ります。

17:30までに大学から子供たちを迎えに行きます。家に帰ったら、今日、学校で何が起こったのか、保育園で何をしたのか、何を学んだのかなどを子供たちと話します。その後、家族のために夕食を準備し、子供たちに食べさせます。食べた後は、片付けて子供をお風呂に入れなければなりません。子供たちが就寝したら、やっと私の時間です。レポートを書いたり、授業内容を勉強したりします。



これが私の忙しくて幸せな一日です。

福井への旅



NUR HANANI BINTI MOHAMAD AZMI (Malaysia)

工学部 電気電子情報工学科

SITI SYARINA BINTI SAMSUDIN (Malaysia)

工学部 建築・都市環境工学科

私たちは1年生です。去年入学した先輩たちは前期に入る前に日本に行くことが許されていなかったため、私たちも3月に日本に行くことが許されないことがわかりました。

コロナウイルスの発生がさらに広がるのを防ぐために、日本政府は日本に入国するためのいくつかの手続きを設定しました。通常、学生は同じ日に日本に飛行機で行きますが、日本政府は日本への入国制限を設定しているため、学生は5つのグループに分けられました。さまざまな書類を準備し、提出する必要がありました。残念ながら、各グループの1人がcovid19に感染しました。下の写真は、クアラルンプール空港で私たちのグループ5の写真です。



成田空港では、検疫所に移動する前に、いくつかのポイントを通過する必要があります。これらの時点で、職員はコロナウイルスの検査、隔離で使用するアプリケーションをチェックし、いくつかの情報を提供しました。到着したあとに、いろいろな手続きがあって、4時間以上もかかりました。とても疲れましたが、やっと日本に來られて、嬉しかったです。そして、みんなと集まって、バスに乗って、隔離ホテルに行き、隔離期間が始まりました。隔離中は毎日、自分の体温を自分のマレーシアから持ってきた体温計で測って、フォームに書きました。

私たちは14日間隔離生活をしました。食べ物はマレーシア大使館によって準備されました。日本にいましたが、マレーシア料理をいただきました。



隔離中はホテルでオンライン授業を受けました。インターネットの状態が悪かったので大変でした。マレーシア半島では、地震を感じたことはありませんでしたが、ホテルで感じた地震は、人生で初めての地震でした。

2021年10月18日に、福井へ行くために東京駅から金沢まで新幹線に乗りました。そして、普通電車で福井駅まで行きました。福井駅に着いて、たくさん恐竜があって、びっくりしました。実は、福井は恐竜で有名なのは知りませんでした。無事に目的地に到着したことを報告するには、担当役員に写真を送る必要があったので、福井駅の前にある恐竜と写真を撮りました。



そして、先輩たちと昼ごはんを食べました。福井に着いたあと、最初のご飯はうどんでした。美味しかったです。

助けが必要なすべての重要なことは先輩にお世話になりまして、今でも感謝しております。

私の夏のインターンシップ



Petemoya Yves Clinton (Democratic Republic of Congo)

工学部 建築・都市環境工学科

私は 2020 年に福井大学の建築・都市環境工学科に入学した、PETEMOYA YVES CLINTON と申します。アフリカ大陸のコンゴ民主共和国から来ました。コンゴは日本と違って、発展途上国であり、コンゴの大都会以外、道路や交通網があまり整備されていません。それで、人や不可欠なものの移動が難しいです。それが理由で、私は子供のときから、土木の勉強をし、母国の都市間を結べる施設の設計者になりたいという夢がありました。

この夢を実現するために、2020 年に福井大学の建築・都市環境工学科に入りました。今は土木に必要な知識を身につけています。2021 年の夏に、大学で教われる理論的な知識以外に実務的な知識も身につけたかったので、福井県にある建設会社、石黒建設でインターンシップをしました。

インターンシップ研修において、まず自分が進みたい道についてイメージを付けるチャンスだったと思います。そのみならず、自己成長のためにも良い体験でした。もちろん、職業のインターンシップであるので、将来の職に役立つ基礎知識を身につけることが自分



の一番の目的でしたが、現場の人と関わり始めて、土木の基礎知識よりも、土木者たる者どのような人であるべきか、どのような楽しみ、どのような苦労があるのかなどを理解することが目的になりました。

インターンシップで、現場知識と社内知識を得たと思います。まず、土木現場に関する基礎知識である測量、プロジェクトマネジメントを学びました。現場では、福井県と岐阜県を結ぶ高速道路の中心点の測量をし、福井県側のインターチェンジの中心点を下しました。この道路ができたら、私もこの道路の設計に参加したという自慢になるでし



よう。それだけでなく、現場では機械をはじめ、現場に携わる職員までが安全な環境で働けるようにすることが現場監督の一番重要な役割であるということを学びました。次に、社内知識について、主に図面の書き方と積算することを学びました。図面の正しい読み方や書

き方がわからないと建築物ができあがらないので、今回のインターンシップで jwcard という図面を描くためのソフトを利用して、建物の平面図や立面図、仕上げ図などの書き方を練習しました。それに、建築物を建てる前にどのぐらい予算が必要なのか、施工期間がどのぐらいかかるのかを定めるために行っている工事積算の基礎知識も身につけたと思います。

以上述べたように、今回のインターンシップ研修で、土木に関する測量や積算のような土木知識だけではなく、どのような職業にも必要である、チームワーク、コミュニケーション、時間を守ること、細かい所まで注意することというような知識も得たといっても過言ではないです。土木工事では、土木者以外、工事に携わる様々な職員がいるので、全員協力しながら、働けるようにチームワークとコミュニケーション能力が必要です。また、土木工事は施工期間通りに終わらせないと会社に負担が出るので、小さな間違いを見逃さずに、時間を守ることが大切です。

以上をまとめると、石黒建設でのインターンシップ研修において、将来やりたい土木の仕事に関する測量、積算、現場の安全管理の基礎能力を得たうえに、土木に限らず、人間、社会人として持たなければならないチームワークやコミュニケーション能力なども身につけることができました。将来の学生生活や就職に生かしたいと思っています。

マレーシアの中華系料理



Tang Lian Chen (陳聯真 Malaysia)

工学研究科 産業創成工学専攻

多民族の国であるマレーシアには様々な人種があり、食べ物も色々な種類があります。今日、ここで紹介したい1つ目の食べ物は「ピータンと豚肉のお粥」です。これはたぶんどの国の中華系の人でもわかる日常料理です。私の家では朝ごはんに毎週2、3回ぐらいこのお粥を食べます。

まず、必要な材料はお米またはごはん1人分、ピータン1個、豚ひき肉少々、小麦粉少々、みじん切り生姜少々、ごま油小さじ1、みじん切りネギ少々です。

お粥を作る前に、準備しなければならないことを以下に書きます。

1. ピータンを細かく切っておき、生姜とネギはみじん切りにしておきます。
2. 豚ひき肉に少量の小麦粉をまぶしておきます。



次に、お粥を作る手順は以下の通りです。

1. お米を磨いで鍋に入れ、水600ccを加えます。
2. 鍋を中火にかけ、沸騰直前に表面が白く煮立ってきたら、じゃもじなどで鍋底にお米がこげつかないように混ぜ合わせます。
3. 沸騰したら弱火にして、約10分ぐらい経過したら、ひき肉と生姜を鍋に加えます。
4. また10分ぐらい経過したら、塩少々とピータン1個を全部鍋に入れます。
5. 約2分ほど加熱したら、ごま油を入れて軽くかき混ぜて火を止めてください。
6. 器に盛ってねぎを散らしたら完成です。

この料理は人によって作り方も少し違います。ある人はお粥が完成した後に、せん切りの生姜を炒めてお粥の上のせませます。また、塩の代わりに鶏がらスープの素を入れる人もいます。作り方は色々あるので、皆さんのお好みで作ってください。



次に紹介したい料理は私が個人的に大好きな料理です。マレーシアのレストランにもよくある料理「バターチキン」です。

基本的な材料：

鶏もも肉 2 枚、唐辛子 3 本、カレーの葉少々（なくても大丈夫）、にんにく少々、バター大さじ 3、塩と砂糖とカレー粉少々、エバミルクまたはミルク 300g（お好みで量を変えて）、卵白、コーンスターチ。

1. まず、鶏肉を食べやすい大きさに切ります。鶏肉に塩、コショウ、卵白を加えてよく揉み冷蔵庫で 1 時間以上寝かせます。
2. 1 時間後に、鶏肉に適量のコーンスターチを加え、しっかり混ぜ合わせます。
3. コーンスターチをまんべんなくまぶしたら、まず 1 回目は中火で 3 ～ 4 分を目処に揚げて、取り出します。2 回目は強火で 20 秒ぐらい揚げます。
4. 次に、中火でバターを溶かした後にカレーの葉、にんにく、唐辛子を入れて炒めます。
5. 香りが立って来たら、強火でエバミルクを加えながら混ぜ、砂糖と塩とカレー粉を入れて中火で汁が濃縮するまで炒めます。
6. 最後に、揚げた鶏肉を入れて汁と混ぜ合わせたら、出来上がりです。

さあ、皆さんもステイホームの際にはマレーシアの中華系料理を作ってみてください！！

マレーシアのおすすめマレー系料理



Nabilah Binti Zulkifli (Malaysia)

工学部 電気電子情報工学科

Nasi Lemak

Nasi Lemak (ナシレマ) はマレーシアで一番人気の食べ物であり、よく朝食に食べられる

ものです。作り方は簡単ですが、主な材料は日本に売ってないので、日本にいるマレーシア人はこれを毎朝食べられないです。材料はマレーシアから持ってくるので、本当に食べたい時だけに作ります。

ナシレマの基本の基本はココナツミルクで炊いたご飯と辛いチリソース（サンバル）ですが、普通はご飯、サンバル、キュウリ、卵とピーナツなどを組み合わせます。唐揚げと一緒に食べるとナシレマはより美味しく食べられます。これはマレーシアの一番おすすめの料理です。



Rendang

次は私の大好物で、ルンダンと言います。ルンダン (Rendang) とはマレー系の伝統的な料理であり、ハリラヤ（イスラム教のラマダン後のお祝い）のときに作られる料理です。ルンダンは地方によってバリエーションが異なりますが、一番



好きなのは写真に示したような、Negeri Sembilan 県のルンダンです。ルンダンは牛肉、鶏肉、ヤギ肉などをココナツミルクで長時間煮込んだ肉料理です。味が辛いですが、ココナツミルクのクリーミーな味でとてもバランスが良いと思います。

日本に来てから、毎年のハリラヤにマレーシアに帰れないので、私は必ず Negeri Sembilan のルンダンを作ってマレーシア留学生と楽しんでいます。また、2017年にルンダンは世界一美味しい料理に選ばれたそうですので、皆さんもぜひ試してみてください。



去年のハリラヤパーティーのお祝いで大量のルンダンを作りました

Paprik

最後のおすすめマレーシア料理はパプリク (Paprik) です。パプリクはマレーシアのローカルグルメであり、タイの Pad Prik が起源らしいです。味はトムヤムクンと少し似ていますが、ソースはトムヤムクンよりもっと濃いです。鶏肉またはシーフードを野菜やチリなどと炒めて、フィッシュソースなどで味付けしてい



ます。

一から作ると時間がかかりますので、普通はトムヤムクンのペーストを使っています。材料はトムヤムクンの材料と同じですので、トムヤムクンのペーストを使えば、短時間でパブリクを作れます。赤い色は辛そうに見えますが、普通は辛くないです。私は辛いものが大好きですので、たくさんのチリを入れてよくご飯や卵と一緒に食べています。

では、皆さんも、機会があったら、マレーシア料理を食べてみてください。



福井を楽しむ一私の場合



Azni Syaziera Binti Abdul Aziz (Malaysia)

工学研究科 安全社会基盤工学専攻 電気システム工学コース

春といえば、桜です。日本では春になると、大勢の人が公園などで、ピクニックをしながら、満開に咲いている桜を観賞します。

これは“花見”と呼ばれます。この特別な習慣は他の国にはなく、日本にしかありません。それを直接体験できた私は自然に対する見方が変わり、ますます自然の美しさに強く興味を持つようになりました。初めての花見は、福井にあるマレーシアコミュニティが開いた花見でした。マレーシアから来た新入生がそれぞれ手料理を持参し、それを皆にごちそうする形で花見をします。ナシーレマク、チョコケーキ、ラザニアなどの料理がありました。これは3年前のことで、とても懐かしく思います。



留学生の花見



小野市の滝

夏といえば、花火大会と海です。毎年楽しみにしており、学部3年生の時は天気が良く、花火が綺麗に見えました。去年は若狭おおいのスーパー大火勢で、友達と一緒に川の近くでピクニックをしながら花火を見て、コロナのせいで曲はなかったですけど、とても最高の時間を過ごすことができました。写真を撮ることが好きな私は、このチャンスを使って、良い写真が撮れるように頑張りました。周りの人からカメラの操作などを教えてもらったので、これからも素敵な写真を撮りたいと思います。また、夏は花火大会の他に、野外活動がしやすい時季でもあります。それだけでなく、川でバーベキューしたり、ひまわりを見に行ったり、とても楽しい夏になりました。

秋といえば、紅葉です。大好きな秋が来たら、毎年紅葉を見に行きます。3年生又は4年生の時は刈込池の紅葉を見に行きました。ハイキングしながら、紅葉の景色が非常に綺麗で、みんなで記念写真を撮りました。去年は



レインボーパーク南条でバーベキューとフリスビーをやりました。おいしい肉を食べて周りの綺麗な紅葉を見ることで、その時溜まっていたストレスが一気に発散されました。落ち着いた気持ちで楽しめることが本当に大切だと思い、今年もレインボーパーク南条のような素敵な場所に行きたいと考えております。

冬といえば、スノーボードです。マレーシアで体験出来ないスポーツですから、とても楽しくて、毎年、スキージャム勝山に5回ぐらい行っていました。スノーボードは、やり方の説明を聞いた時は簡単に思いましたが、実際にやってみると、思ったよりとても難しかったけど、先輩が教えてくださったため、今の私はS字のサーフィンができるようになりました！今年の冬も、もっとスムーズなS字のサーフィンを練習したいと思います。



紅葉



バドミントン大会のウォーミングアップ

最後は、どんな季節でもバドミントンをやっています。3年間福井で生活している間に3回もバドミントン大会に参加しました。2回目の大会はミックスダブルスで1位でした。

1回目と3回目は2位でした。バドミントンは福井にある体育館のほぼ全部でやったことがあります。

福井に3年間住んでいる間に色々なことが経験できて、いい思い出になりました。この日本の四季を体験できた私にとって、本当に楽しい3年間になりました。楽し

いことも、悲しいことも、冬の寒さも、マレーシアに帰っても絶対に忘れません。「日本の、その中でも「福井」に留学できて、とても良かったと感じております。

留学生在学状況



(2021 年 10 月現在)

	学部生				大学院生					科目等履修生／研究生／特別聴講学生／特別研究学生				合計
	教	医	工	国	教修	医博	工修	工博	国修	教	医	工	国	
バングラデシュ							1	2						3
ブ ー タ ン										1				1
カ メ ル ー ン							1							1
カ ン ボ ジ ア			2				4			1				7
中 国			9	1			28	15	1			2		56
コンゴ民主共和国			1											1
エ ジ プ ト								1						1
フ ラ ン ス								1						1
インドネシア					1		2	1						4
韓 国			5											5
マ レ ー シ ア			35	3			3		1	2				44
メ キ シ コ										1				1
モ ン ゴ ル								1				1		2
ナミビア共和国										1				1
フィリピン					1									1
ロ シ ア													1	1
台 湾			2				1							3
タ イ							1	1		1			1	4
トルクメニスタン				1										1
ウズベキスタン								1						1
ベ ト ナ ム							1							1
合計	0	0	54	5	2	0	42	23	2	7	0	3	2	140
	59				69					12				

地域社会との交流活動

Local Community Exchange Activities



210411 FCIA しゃべり場



210804 FCIA 中国紹介 たけのご児童館



210909 FIA リモートBUZZ CAFE



210925 FCIA 浴衣で養浩館ウオーク1



210925 FCIA 浴衣で養浩館ウオーク1



210926 FCIA 浴衣で養浩館ウオーク2



210925 FIA 外国人コミュニティリーダー



211007 FIA リモートBUZZ CAFÉ



211024 きもの装いコンテスト



211024 きもの装いコンテスト



211024 きもの装いコンテスト



211024 きもの装いコンテスト



211024 FIA 福井国際フェスティバル



211030 FCIA 和菓子作り体験



211030 FCIA 和菓子作り体験



211120 通訳ボランティア研修会



211120 通訳ボランティア研修会



211225 FCIA シャベリ場

学内交流活動 On Campus Activities



20211203 ゆめおーれ勝山



20211203 ゆめおーれ勝山



20211203 ゆめおーれ勝山



20211203 ゆめおーれ勝山



20211203 ゆめおーれ勝山



20211203 ゆめおーれ勝山



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211209 越前焼 福井県陶芸館



20211216 越前うるしの里



20211216 越前うるしの里



20211216 越前うるしの里



20211216 越前うるしの里



20211216 越前うるしの里



20211216 越前うるしの里



220107 越前和紙の里



220107 越前和紙の里



220107 越前和紙の里



220107 越前和紙の里



220107 越前和紙の里



220107 越前和紙の里



220121 武生ナイフビレッジ



220121 武生ナイフビレッジ



220121 武生ナイフビレッジ



220121 武生ナイフビレッジ



220121 武生ナイフビレッジ



220121 武生ナイフビレッジ



20220128 越前筆筒・ペン立て制作



20220128 越前筆筒・ペン立て制作



20220128 越前筆筒・ペン立て制作



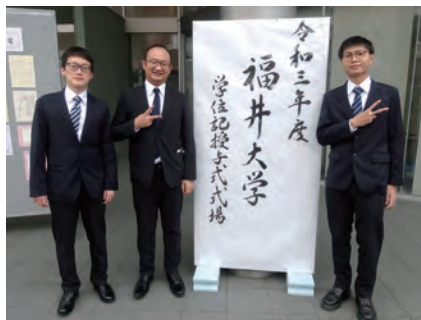
20220128 越前筆筒・ペン立て制作



20220128 越前筆筒・ペン立て制作



20220128 越前筆筒・ペン立て制作



220323 学位記授与式



220323 学位記授与式



220323 学位記授与式



220323 学位記授与式



220323 学位記授与式



220323 学位記授与式

編集後記

長引くコロナ禍も2年目が過ぎようとする中、福井では感染者の最多更新が続き、依然として終息の兆しも見えない厳しい状況下での2022春号の発行となりました。今年度は、学内、学外共に様々な交流活動がウィズコロナ態勢に移行してきたとは言え、交換留学生の受入は中止が続き、渡日できない正規留学生も多いため、昨年よりも原稿執筆協力者が更に少なく大変でしたが、編集委員の皆さんには、ご協力ありがとうございました。福井大学留学生のネットワークを絶やさないよう、今後も発行を続けていきますので、卒業生の皆さんも、近況報告などと共に写真やメッセージをどんどんお送りください。ご協力よろしくお願いいたします。

編集委員

Azni Syaziera Binti Abdul Azis,
Nabilah Binti Zulkifli,
Petemoya Yves Clinton,
Tang Lian Chen,
Wang Yu,
Yoshinobu Torao

Eiko Malcolm,
Nur Hanani Binti Mohamad Azmi
Siti Syarina Binti Samsudin
Wang Ying
Wei He,



福井大学国際センターネットワーク誌「こころねっと」2022年春号
2022年3月31日発行

発行 福井大学国際センター
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
International Center, University of Fukui
3-9-1, Bunkyo, Fukui 910-8507, Japan
TEL.0776-27-8406 FAX.0776-27-9715
E-mail inbound@ml.u-fukui.ac.jp
<https://www.u-fukui.ac.jp/international/>

